



令和5年10月17日

静岡県社会部記者室  
浜松市政記者室  
浜松経済記者クラブ  
各報道機関 御中

国立大学法人静岡大学

学 長 日 詰 一 幸

### 知財教育を通じた知財インターンシップ実習生による報告会の開催について

静岡大学は、浜松いわた信用金庫と連携・協力の下、知的財産権をテーマとした地域企業へのインターンシップを実施しました。その成果を踏まえ、この度下記のとおり、協力企業の参加のもと報告会を開催します。つきましては、各報道機関の皆様には、是非、当日の取材方よろしくお願いいたします。

#### 記

日時：令和5年10月19日（木）14：25～15：40

場所：静岡大学 浜松キャンパス

イノベーション社会連携推進機構棟 1F カンファレンスルーム

- 内容：1. 開催挨拶…イノベーション社会連携推進機構 機構長 川田 善正  
2. インターンシップ実習生による発表  
3. 知財インターンシップに関する意見交換  
4. 総括…かみや特許事務所 弁理士 神谷直慈

詳細は、別紙報道概要をご覧ください。

#### お問い合わせ先

部局名：イノベーション社会連携推進機構

担 当：清水 一男

T E L：053-478-1414

E-mail：is-chizai@adb.shizuoka.ac.jp

## ○報道概要

静岡大学は、浜松いわた信用金庫と連携・協力の下、知的財産権（以下、「知財」という）をテーマとしたインターンシップ（以下、「知財インターンシップ」という。）を実施し、学生の知財教育を通じた産学連携の促進を目指している。企業の重要な経営資源である知財に触れ、現場での知財戦略を体験することで学生の知財に対する見識を深めることや、受入先企業と学生との特許調査等の協働により、地域企業への知財業務支援を行うことを目的としている。

本事業は平成24年度より継続して実施されており、静岡県内の受入先企業からは、学生の新鮮でユニークな意見に接することが出来るなど大変有益な取り組みであると評価を頂いている。

本事業の特徴は以下のとおりである。

- ・インターンシップ前に事前学習を行い、知的財産に係る基礎知識を学習する。
- ・地域で活躍する弁理士が事前学習の講師となる。
- ・学生は、弁理士から直接指導を受け、特許調査、特許公報の読み方と解釈、特許分析について修得する。
- ・事前学習で身に付けたスキルとインターンシップ期間中にOJTで得た知識を融合し、受入先企業の特許状況調査および分析結果について、学生が受入先企業に報告する。

なお、本事業は、以下のスケジュールで実施する。

- ・ 受入先企業の募集及び受入先企業の決定 （4月）
- ・ 「知的財産実践」ガイダンス開催 （4月）
- ・ インターン生募集と選定 （4月）
- ・ 事前学習 （6月～7月）
- ・ ビジネスマナー研修 （6月）
- ・ 受入先企業と学生のマッチング （6～7月）
- ・ 知財インターンシップ 1週間～2週間 （8月～9月）
- ・ 報告会開催 （10月）

# 令和5(2023)年度知財インターンシップ「知的財産実践」 全体報告会次第

日時：令和5年10月19日（木）14：25～15：40

会場：静岡大学浜松キャンパス

イノベーション社会連携推進機構棟 1F カンファレンスルーム

司会進行：静岡大学 清水一男

- 1 開会挨拶（14：25～14：27）2分  
静岡大学イノベーション社会連携推進機構 機構長 川田 善正
- 2 インターンシップ実習生による発表（14：27～15：12）45分  
※インターンシップ実施内容及び成果について、各学生10分で発表し、5分の質疑応答を行う。
  - ① 三浦 成騎（実習先：エンシュウ株式会社 様）
  - ② 勝川 暁人（実習先：ソミックマネジメントホールディングス株式会社 様）
  - ③ 吉見 匠馬（実習先：橋本エンジニアリング株式会社 様）
- 3 総括（15：12～15：22）10分  
かみや特許事務所 弁理士 神谷直慈
- 4 知財インターンシップに関する意見交換（15：22～15：37）15分  
事前学習の効果、インターンシップに対する感想等について、インターン生による発表を踏まえ、参加者全員で意見交換を行う。
- 5 閉会挨拶（15：37～15：40）3分

※ インターンシップ実習生発表の際は経過状況が分かるように経過時間をお知らせするベルを鳴らします。

- 第1鈴：発表開始から8分経過
- 第2鈴：発表時間終了
- 第3鈴：質疑応答時間終了